

中国国内旅行③  
大連を訪ねて

豊田美紀

## 中国国内旅行③～大連を訪ねて

豊田美紀

6月も下旬になりました。このレポートを書いている今日現在ここでの暮らしも残り僅かとなりました。今月は中国では端午節の祝日がありました。端午節には粽(ちまき)を頂く習慣があります。各家庭で粽を手作りすることも多いそうです。私はパン屋さんで真空パックになった粽を買って来て頂きました。私は中国の伝統行事に係る季節ものを頂くことが好きです。

先日、週末を利用して2泊3日で中国東北地方の遼寧省大連市にいる中国人の親友を訪ねました。大連を訪れたのも4年ぶりですが、常に発展し続けるこの街で今回もまた新たな発見がありました。

太原から大連までは飛行機で1時間50分くらいです。中国国内旅行をしていて思うことは、中国大陸は広大なので飛行機での移動は便利だということです。尚且つ運賃も安いのです。私は高鉄(中国の新幹線)よりも短時間で移動できる飛行機の方が好きです。

さて、大連についてですが、昨今は日系企業が多く進出している街としても知られており、日本人にも馴染み深い街かと思えます。大連は遼東半島の最南端に位置し、東に黄海、西に渤海、南に海を隔て山東半島を望む街です。日本をはじめ多くの外国企業が進出する経済先進地域であり、その繁栄ぶりから「北方の香港」と呼ばれる湾岸都市と位置付けられているそうです。私も外資系企業に所属していた時に大連とのご縁ができました。大連は四季がはっきりしています。日本の仙台市、アメリカのサンフランシスコ市と同緯度にあり、モンスーン型温帯気候に属しています。他の中国東北部の都市と比べると過ごしやすいところだということです。

大連は長い間、三山浦と呼ばれる小さな漁村だったそうです。1905年、現在の都市名である「大連」と名付けられたそうです。また、大連は中国の他の街から移住して来た人が多いそうです。私の親友もご家族のご先祖様を辿っていくと山東省から大連に移り住んだということです。大連は坂の多い街です。実際に歩いてみると実感することです。バスや路面電車そして地下鉄もあるので移動手段は便利です。今回は親友が

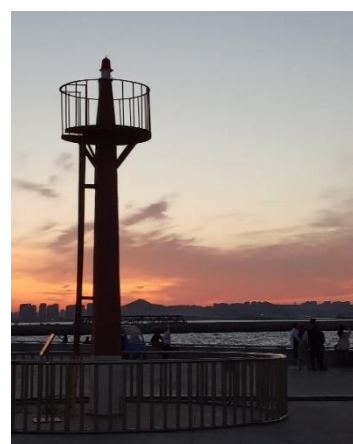


運転する車で市内を散策したのでとても助かりました。ありがとう。

大連は何度も訪れているので、所謂、観光名所は過去に殆ど訪ねました。今回は、その中でも好きな星海公園と東港をメインに歩きました。どちらも目の前が海という広い公園です。親友の話によると、大連の人たちは週末になると海辺の公園に来て、涼しい海風に当たりながらゆっくりとした時間を過ごすことが好きだそうです。そして、夏になると星海ビーチでは海水浴もできるそうです。また、星海公園で行われるビール祭りは大連の夏を彩る風物詩なのだとか……。



夜の星海公園は夜景も綺麗で素敵な場所です。私も久々に星海公園で海を眺めて幸せな気分になりました。親友を含め大連の人たちは「大連が大好き。」と言葉に出す人が多いと聞きます。私の親友は生まれも育ちも大連ですが、自分が暮らす街のことを素直に好きだと表現することはとても素晴らしいと感じます。確かに、外国人の私が訪ねても大連の街並みは素敵です。今回は初めて東港を訪れましたが、ここで見た夕景は本当に素敵でした。また大連の中で好きな場所が一つ増えました。



大連は海に面した街なので海鮮は格別に美味です。今回も親友が連れて行ってくれたお店で大きな海老が沢山入った美味なお粥を頂きました。今回は6月に大連を訪れましたが、大連の特産の一つがさくらんぼだということも初めて知りました。親友がお土産にさくらんぼを持たせてくれましたが大粒で新鮮で本当に美味でした。ありがとう。



最後に、今期も残すところ2週間となりました。太原の

初夏そして夏は半端なく暑いです。先月中頃から今月になり連日夏日(真夏日)が続いています。部屋にエアコンが無かったことから酷く体調を崩したので、山西省政府の方にお力添えを頂いて環境の整った部屋に引っ越すことが出来ました。今は体調を整えながら、クラスに通っています。また、本来ならばあるはずもないような難しい人間関係もありました。しかし素晴らしい温かい友情にも恵まれました。まるで人間力を試されているかのような感じでした。間もなく期末試験の時期です。有終の美を飾るべく目標達成に向けて精進します。

